

●20日（土）10時から12時まで農園のトマト畑の撤収にお手伝いを求めています

今年は昨年比較で、なり具合は相当減収となりました。日照りや排水に問題があって、例年のように収穫できませんでした。撤収と整地を行って、冬野菜の準備を行います。お手伝いをお願いいたします。お越しいただいたみなさんのご意見を伺って、里山農園の運営について改善していきたいと思っています。

里山農園での収入をもって、NPO法人里山の会の重要な財源としてきましたが、これまでの方法では少し無理があるように思われます。改善を進め、楽しい農園活動・野菜栽培を通じて「自然を大切にする仲間の輪を大きくする」を発展させたいものです。また里山農園周囲は京田辺市の自然の宝庫でもあります。こうした環境も大切に保全し、自然大好きな子どもたちのための学習の場としても発展させようとしています。

里山農園では毎週土曜日と火曜日の午前中を定例の作業日としています。その他の日曜日は定例とは決めていませんが、ご都合のつく場合は積極的にお願いして整地や片付け思いつく作業や教育棟でくつろいでいただくことも、やぶさかではありません。農園に多くの皆さんがお越しいただくことを大歓迎です。火曜日の予定は、トラクターでの耕うんの前作業を予定しています。

●団地朝市 14日（日）午前8時から 売り出し 9時前に終了

大村深田森島堀江さんが売り子で奮闘。お盆に当たりましたが、熱心な出店者が集まり開店8時には、すっかり勢揃いできました。おなじみの皆さんが挨拶を交わし品並べです。連合自治会の郡さんが開会宣言をし、前館の放送を行い、呼び出し案内を行ってくれました。約40分間に完売するお店も出て、9時にはそれぞれ店じまい。お客さんも心得たもので、姿がまばらになります。次の開店を約束して店じまいでした。この日の出会いは約50人の方々に新鮮な野菜を届けることができました。

●16日防賀川で恒例の灯呂流し 9時から水止め作業 菊池さん大植さん郡さん

生い茂った雑草で簡単に止水ができるようになりました。以前は川下もきれいに清掃が行われて、川床に雑草は生い茂っていませんでした。近年すっかり雑草が茂って川面も見えなくなっています。16時には準備もすっかり整って、水ためもこれまでになく深くなりました。木津川に向かって川風が心地よく吹いてくれています。早速、こられた子どもさんが作ってくれた灯呂を流すと、すいすいと木津川に向かってくれました。途中でもったいなくなっていて、拾い上げ、流し直しをしていました。5時には絵を書く子どもも多くなって賑やかさが増しました。突然風がやみました。パラパラと降りだします。気に留めなかったのですが、西の空が暗くなり、一安心していたら本格的に降りだし、本降りの雨です。雨宿りをしているのは、らちが明かないと降りだす中での後始末、水止めの堰を解体しました。ところが、このころには増水が激しくなっていて、危険が迫ってきているようでした。大慌てで、机などを引き上げると、もう階段の2段目に増えてきていました。久しぶりに頭から足先までずぶぬれになりました。

●お盆もあけて、少し風が変わりましたね

14日の夕立でちょっぴり気休めか 野菜がピンチでは・・・

16日は京田辺市の花火大会でした。急に激しい雨の中打ち上げが始まりました。長らく本格的な雨がなくて、畑の作物には恵みの雨でしたが、楽しみにしていた子どもたちには少し残念な夕立でした。これで普賢寺川の増水ができて21日の魚とりが可能になればいいなあと思っています。

●第5回親子で遊ぼう学ぼう魚とり 21日（日）129人の参加申込み 今年最高の応募者
スタッフが足りません、応援に来てください。

今年6回の魚とりの中で136人の参加は最高記録となります。7日にも多くのご参加があって、開催場所を変更しました。長い夏休みで、楽しみにされている子どもたちのために、木津川で安心して魚とりができる場所探しに躍起になっていますが、なかなか適当な場所が少なくなってきました。今回も普賢寺川の水量が続くのか、安心できません。第2の会場も準備しなければならず、苦労が絶えません。当日の多くの人々をうまくさばくにも、少し人手が不足しています。ご多忙の中ですが、午前中の取り組みと計画していますので、思い切ってお手伝いにお越しく下さい。お願いいたします。スタッフは8時、山城大橋西詰め下の駐車場にお越しく下さい。お待ちしております。

●第2回理事会 26日（金）午前9時30分から中央公民館で開催いたします
理事の皆さんご出席ください・

●第20回里山講演会 9月11日（日）13時会場 中部住民センター（せせらぎ）で開催

講師は京都大学大学院生小林慧人君と滋賀県立大学院生北野大輔君、その他京都大学院生や同志社大学生の皆さんの研究発表を中心に行います。なお谷口河川レンジャーから木津川のアユの現状…遡上…について特別講演をいただきます。

●「第16回川に学ぶ体験活動全国大会 in 琵琶湖・淀川流域圏」9月3日（土）摂南大学で開催

基調講演は大阪工業大学特任教授・綾史郎先生から「淀川生態環境の目指すもの」としてお話しいただきます。続く全国事例として九州紫川と岐阜県の長良川の取組が発表されます。そして地元事例として河川レンジャーの概要説明、具体的な活動事例として滋賀県立大学院生北野大輔君（やましろ里山の会）が「竹蛇籠の取組」を報告します。その後、安全、環境、水辺、文化、連携の5つの分科会で全国の仲間と交流を図り話し合います。参加受付を延長して受け付けることになりました。こぞってご参加ください。参加費無料です。翌日の4日（日）は琵琶湖（滋賀県）で大型船を会場にして沖ノ島を訪ね地引網体験も行います。京都は京阪八幡駅を出発して宇治伏見鴨川を訪ね歴史と川のかかわりを学びます。そして大阪は点野と毛馬からバスと船で淀川を体験し、午後には大川を、リチウムイオン電池を使った船で大阪を体験します。いずれも9時30分スタートします。現在多少の余裕がありますので、大至急申し込んでください。